

NakaNishi ESD JOURNAL

Creation
Quest
Friendship



2023年 9月 15日 発行 第5号

長野県中野西高等学校 ユネスコ委員会

ESDとは？

Education for Sustainable Development／持続可能な開発のための教育

ESDは地球規模の課題を自分のこととして捉え、身近なところから取り組む (think globally, act locally) ことにより、課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。

「ありがとう」 小布施見にマラソン

7月16日(日)朝6時、小布施の河川敷に約30名の中野西高生が集まりました。彼らの目的は、「小布施見にマラソン」のボランティアに参加すること。気温が30度に迫る中、活動は始まりました。ランナーのためにお水やブルーベリーを用意したり、冷却スプレーやごみ箱を設置したり、まさしく裏方としての仕事でしたが、参加した生徒からは生き生きとした表情が見られました。



「ボランティアをすると意外と感謝される」「人の助けになることがこんなにも良いことなんだとわかった。」「『ありがとう』『頑張ってる』の一言だけでも人の救いになる。」「人にありがとうと言われることがどんなに励みになるか感じる事ができた」「困っている人がいたら助けるなど、当たり前のことが当たり前出来る人になれるよう周りを見て行動するようにしたい。」「人の笑顔で自分も元気になれると強く感じた。」

参加した生徒の感想です。活動をすることで、自分たちが誰かの役に立つだけではなく、自分たちも元気になれる。そんな経験を得ました。

しかし、それだけではなく、

「小布施見にマラソンだけでなく、他のボランティア活動にも参加したい。特に、小布施見にマラソンは来年も参加したい」「またボランティアに参加して地域との関わりや活性化のお手伝いをしてみたい。」「人に感謝されることをもっとやってみたいと思う。」

人に感謝され、元気を得た経験から、「また誰かのためにボランティアに参加したい！」という感謝のバトンがつながっていきそうです。

中野西高校では、小布施見にマラソンのほかにも、様々なボランティアの募集をしています。今年度、まだ参加できる活動も残っています。クラスルームから応募できます。イメージだけでは学べない世界へ。ぜひ、様々なボランティアに参加してみてください。

